

2021

令和3年

新春号

A-TiC

広報誌エーティック・プレス

PRESS

Going Forward in 2021

株式会社 エーティック

SINCE 1973

新年明けましておめでとうございます。

コロナ禍については語り始めるとキリがないので割愛させていただきますが、その影響もあって本号を皆様のお手元にお届けするのが例年より遅れます事、ご理解いただければと思います。予想はしていたものの、まさか本当にそのまま一年経つとは…というのが正直な心境です。

令和3年度の公共事業予算案が決定し、今後国会での審議となります。北海道開発予算は、令和2年度補正予算と合わせた「15ヶ月予算」ベースで前年度を上回る規模を確保していますが、早期の発注が想定され、春先の忙しさは例年以上のものとなりそうです。営業・技術ともに気を引き締めて備えているところです。

また、中々自由に出歩けないご時世、これも天が与えてくださった有効な時間だと考え、今まで必要としながらも、深く考える余裕がなく後回しにしてきた様々な経営改革に本格着手しています。社長に時間的余裕があり余計なことを考え始めると、社員にとっては迷惑な話かもしれませんが…。

「新しい日常」という言葉に流されてドライな組織になってしまうのが一番のリスクです。リモートは必要ですが、これを人間関係すべてに当てはめるのは切ないことです。新しい日常を構築しつつ、人とつながり続ける当社でありたいと思っています。

何はともあれ、皆様と活発に対話ができる日が一日も早く訪れることを切に願いつつ、皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げます、今年一年も変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 舟田 幸太郎



■「事故の原因は想像力の欠如」

ーウェブ会議で20年度下期安全大会（9月24日）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためウェブ会議システムを利用して下期安全大会を実施しました。ライブ動画を視聴する職員（役職員85人）や協力会社（22社30人）に向けて社長は「人間の資質である想像力と思いやり深く理解し業務にあたって欲しい」と呼びかけをしました。

霜出安全衛生委員長からは「コロナ禍に伴うストレスや不安が溜まっているかと思うが、このようなときだからこそコミュニケーションを深め、危機管理能力を高めてほしい」と呼びかけました。また、「事故やトラブルの原因は想像力の欠如に尽きる」と指摘。ゼロ災害達成に向けて「想像力と思いやりを持ち、細やかな安全対策はもちろん、日々の生活の中でも想像力を常に動かして思いやりを持って業務に当たってほしい」と要請しました。



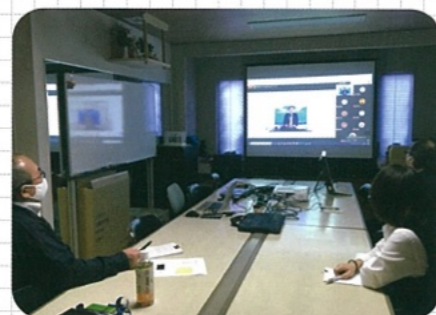
配信状況



霜出安全衛生委員長



職員の視聴状況



協力会社の視聴状況

■4人の若手技術者が日頃の成果を報告

ー第28回社内技術発表会（9月24日）

いつもであれば研修施設を利用し外部講師による特別講演も行っていますが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、社員だけでウェブ会議システムを利用して社内技術大会を実施しました。

技術部門の担当者が日ごろの業務成果について、プレゼンテーション能力の向上を目的として始まり、28回目を迎えました。

今回は、調査部と計測事業室、設計部から若手技術者4人が、各専門分野の業務で得た知見や見解を論文にまとめ発表しました。社内幹部による審査の結果、最優秀賞に設計部道路・河川グループの山本岳さん、優秀賞を設計部構造グループの三木克則さんが受賞しました。



■インターンシップを実施

ーインフラ整備の役割と重要性などを説明（8月-9月）

コロナ禍ではありますが感染対策を万全にしてインターンシップ実習生の受け入れを2回行いました。学生には建設コンサルタント業界に興味をもってもらえるように、インフラ整備の役割と重要性やコンサル業務内容について技術部職員が中心になり実習生に説明しました。調査や観測などの実務経験と、ドローンなどを使った三次元データの作成やBIM/CIMの紹介、トンネルや災害復旧、道路改良現場の見学会などを実施、事故無く無事終了することが出来ました。来年はより多くの学生さんに参加してもらえようリクルート活動も鋭意進めていきたいと思っております。

8月24日～28日 室蘭工大2名、北見工大1名、苫小牧高専1名
9月28日～29日 苫小牧高専2名

A-TIC à la cart



計測事業室（計測システムの実習）



環境グループ（自然環境調査の実習）



防災地質グループ（流量・流速観測の実習とコア観測の実習）



設計部（道路設計の実習と構造設計の実習）



ヘンリー・スペンサー・パーマー

近代水道を日本に引いた英国人

Henry Spencer Palmer

写真提供：「函館水道100年」より

明治初期、開国による寄港船増加の影響から、伝染病コレラが国内に持ち込まれ、全国に蔓延していました。現代日本では当然の衛生設備も、当時の日本では技術的に未知のものでした。近代水道への転換が不可避となった日本は、香港等で水道設計に実績のあったヘンリー・S・パーマーを招聘しました。パーマーは横浜に日本初の上水道施設を建設したほか、大阪、神戸、函館の水道建設にも携わりました。パーマーが我が国にもたらした技術は日本の水道技術の礎となり、公衆衛生に大きな役割を果たしたのです。

○パーマーの来日

パーマーは1838年、英国統治下のインド帝国バンガロールで誕生し、英国バースで学んだ後、王立陸軍士官学校へ進学して工兵中尉に任じられます。英領ニューゼalandやバルバドスの任地を経て、1878年には香港で広東水道・香港水道の設計を行いました。その後の1883年に当時中佐だったパーマーが日本に立ち寄る機会がありました。英国公使パークスが神奈川県へ紹介する形で、難航していた横浜上水道の調査と計画に参画することになったのです。パーマーは僅か3か月で水道計画書を作成して帰国しますが、1885年には正式な要請により再来日を果たします。顧問工師長として水道工事も指揮したパーマーは2年後に横浜水道を完成させますが、これが少将で退役する彼の最後の任務となりました。明治20年(1887年)、日英同盟(1902年)が調印されるより15年も前の出来事です。

○日本初の近代水道施設

日本では近代化に先駆けて、横浜・長崎・函館などが開港され、外国人居留地の確保が行われた結果、上下水道の問題が浮上していました。特に横浜は首都に隣接して外交の中心であったため、飲料水の問題以上にコレラ蔓延への衛生設備の対策は急務でした。

当初、江戸時代からの手法、木樋水道を敷設しましたが、衛生面では抜本的な解決に繋がらず、改善策として鉄管による近代水道の敷設を必要としていました。日本人技師を中心に調査しましたが、この新式水道建設は未知の技術であり、計画は難航していました。

偶然大日していたパーマーは僅か3か月で多摩川・相模川水源の両取水案を調査すると、将来性の高い相模川取水案を主とした水道計画書を立案しました。このパーマーの水道計画書は施設に関するノウハウから経営方法まで多岐にわたって記載され、近代水道のバイブルとして日本の水道技術の礎となり、また完成した横浜水道は給水人口7万人・5730m³/日の日本初の近代水道施設となったのです。



横浜水道建設の様子（横浜水道写真帖）

宮内庁書陵部所蔵

○函館水道施設

函館は湿地が多く飲料水が不足する土地で、江戸末期に開削した願乗寺川を水源としていました。明治10年(1877年)のコレラ蔓延を契機に、ジョセフ・U・クロフォードが近代水道計画を調査するも、同年の大火により計画は頓挫しました。

明治19年(1886年)、再びコレラが蔓延すると、死者800人を超える惨事となりました。水道計画が議会で再決議され、横浜水道建設で著名だったパーマーに調査が依頼されます。しかし、当時パーマーは横浜水道建設のほか、大阪、神戸の水道事業にも携わっていました。パーマーは多忙を極めながらも函館に足を運び、道庁技師の平井晴二郎らと共に調査を進め、給水人口6万人・4100m³/日の水道計画書を策定しました。

パーマーの計画は、経済的理由等から日本人技術者が工事監督を務める方針となり、平井の推挙により千草基が現場指揮を執りました。明治22年(1889年)に完成した函館水道は、日本人技術者が建設した初の近代水道施設となったのです。



パーマー作の函館水道の図面

写真提供：「函館水道100年」より



函館中央図書館所蔵

完成当時の函館水道高区配水池

○パーマーの足跡

退役後、パーマーは日本人女性と再婚して東京に居住しました。その後、内務省土木局の名誉顧問技師として日本の土木事業に携わります。神戸の淡河疏水(おうごそすい)の計画、横浜築港計画をはじめとする港湾施設設計、水道以外にも幅広い分野でパーマーの足跡を確認することができます。

また、ジャパントイムズ通信員として日本情報の執筆文を掲載するなど、技術外の活動にも精力的でした。パーマーの子孫である樋口次郎氏が、著書『祖父パーマー』で、「不完全な知識による反対意見を払いのけ、他文明諸国の経験を信用し、給水問題に即刻配慮すべき」と主張する投稿を紹介している。近代水道と水道料金という新しい技術と概念の導入にあたり、異郷の一般大衆から、無見識ゆえの反対意見がある中、なお正しい主張を貫き通した真摯な姿勢は、資料も時間も無い中で計画書をまとめ上げた手腕以上に評価されるべき功績と考えます。

明治26年(1893年)、パーマーは脳梗塞により54歳の若さで死去しましたが、もし存命していたら、どれほどの土木事業が遺されていたのか、想像に難くありません。

Impressions

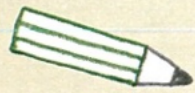


明治初期、コレラが蔓延していた日本は、現在コロナ下の日本と少し似ている状況だと思い、今回紹介させていただきました。今は当たり前の施設でも、導入初期の苦労はいかばかりかと考えさせられます。



横浜市水道局提供

野毛山公園に設置されたパーマー像



技術者と連携しながら仕事を進める

常務執行役員 前田 和広



各職場で新型コロナウイルス対策が進められ、リモートワークが普及するなど新たな勤務スタイルが定着しつつあります。私が社会人になった当時(1977年)は、職場にパソコンも携帯電話もない時代だったので隔世の感があります。

さて、私は北海道開発局等で42年間勤務しましたが、振り返ると公物管理の仕事に関わった期間が28年にわたります。そのため、本コラムでは、私の経験した仕事についてお話ししたいと思います。聞きなれない用語もあると思いますが、ご容赦をお願いします。

「公物」とは、公共目的に供される道路、河川、港湾、土地改良施設等の土地や財産を指します。そして、公物管理は、道路法、河川法、港湾法、土地改良法等に基づいて、それらの整備事業を実施するための手続き、土地や財産の管理、適切な利用あるいは不用となった土地や財産の処分などの幅広い業務を各事業部門と連携しながら進める仕事です。私が最初に経験した仕事は、農業部門が実施する国営土地改良事業の開始や計画変更の法手続きでした。本局農業水産部と農林水産省関東農政局で担当しました。また、関東農政局では、都県と連携しながら土地改良事業団体への指導や農地集団化(換地計画)に係る仕事にも携わりました。次に、本局建設部と各開発建設部では道路部門、河川部門と連携しながら道路・河川区域の変更、道路の供用開始、占用許可や不法占用者への指導、水利権許可や利水者との調整、不用物件(道路敷地)・廃川敷

地の処分、特殊車両の指導取締り、監督処分、損失補償、国家賠償事務、管理測量の検査などを担当しました。特殊な仕事としては低潮線の保全(海岸線沿いをヘリコプターで上空から巡視)、道路事務所では道路パトカーに乗って道路巡回をしました。また、必要に応じて関係行政機関や各種団体との協議、弁護士との打合せ、訴訟(裁判)も経験しました。

こういった仕事は、もちろん公物管理の担当者だけでできることではなく、事業部門の技術者と連携し、方針等を決めて実施します。状況によって方針が変わることもあります。

最後に、私の経験ですが、重要な判断をする場合は情報が重要です。得た情報が公的なものであったとしても実際の状況は様々なので関係者から直接話を聞いて確認することが必要です。IT時代になった今も、人と人とのコミュニケーションの基本は、直接会って話することだと思います。

- 1959年 旧栗沢町(岩見沢市)生まれ
- 1977年 岩見沢農業高校農業土木科卒業
- 1982年 旭川大学経済学部卒業
- 1977年 北海道開発局旭川開発建設部に入局。その後、本局、各開発建設部及び農林水産省関東農政局で主に公物管理事務に従事
- 2019年 旭川開発建設部調査官を退官
- 2019年 ㈱エーティック入社

道内トンネル文献あれこれ

令和2年7月～令和2年11月において、専門雑誌等に発表された、北海道内のトンネルに関する論文・報文等のリストを紹介します。トンネル関係者の方々へ最新情報を提供いたします。なお、詳細を知りたい方は弊社までお問い合わせ下さい。

👉 国道・道道他

- 1 山岸隆史：トンネルにおける施工の合理化、生産性・安全性向上の取組み 日高自動車道 新冠町 大狩部トンネル工事, 北海道土木技術会トンネル研究委員会会報, No.67, pp1-6, 2020.
- 2 高橋佳孝：北海道縦貫自動車道 七飯町 大沼トンネル避難坑西大沼工区工事, 北海道土木技術会トンネル研究委員会会報, No.67, pp11-15, 2020.

👉 新幹線・鉄道

- 3 根来将司：北海道新幹線、羊蹄トンネル(比羅夫)他 トンネル工事, 北海道土木技術会トンネル研究委員会会報, No.67, pp7-10, 2020.

未来を託して 若者たちの横顔

当社では20代、30代の若者達が数多く活躍しています。若さゆえに壁にぶつかること、失敗することも時にはあります。でも、失敗を恐れて小さくまとまるのではなく、チャレンジし続けることが若者の特権であり、強みです。会社の未来を支える4人の横顔を紹介します。



一日も早く会社の戦力に

川原 匠 Takumi Kawahara



金融機関での勤務を経て、昨年10月に入社しました。営業企画部に所属していますが、エーティックの魅力は、社会を支え暮らしに役立つ施設を作るというスケールの大きさ。まだ分からないことばかりですが、先輩と上司に教えてもらい一日も早く会社の戦力になりたいですね。趣味は小学校時代から続けている野球。キャッチャー一筋です(26歳)

休日に充電しパワーアップ

大沼 春花 Haruka Onuma



平成29年に入社し、経理事務を担当しています。エーティックは若い社員の方が多く、活気があり、私の職場もとても働きやすい環境です。困ったことがあればすぐに相談できる上司もいます。苫小牧市出身で今は一人暮らしです。休日は一人で過ごすことが多く、ユーチューブを見てぼーっと過ごし、仕事に向けてパワーを蓄えています(27歳)



若者が輝くエーティックのロールモデル

鳴海 翔 Sho Narumi



18歳で入社し、あっという間に3年が過ぎました。最近は少し周りを見渡すことができるようになりましたが、先輩の背中を追いながら勉強中です。昨年3月に男の子が生まれ、ことし5月には2人目が生まれる予定です。夢中に慣れる仕事と家族が生きがいです。若手の社員も増えてきて、お互い切磋琢磨しながら会社を盛り上げていきたいですね(21歳)



技術士取得に向け切磋琢磨

兼平 藍璃 Airi Kanehira



設計部に所属しています。解析業務が中心ですが、優しい先輩と頼りになる後輩に恵まれ、明るい雰囲気の中で仕事に熱中できます。自分で考えて設計できる技術者が目標です。できれば技術士取得を、と切磋琢磨しています。休日は家庭菜園で野菜や花を育てています。おばあちゃんと一緒にのんびりと過ごすことも癒やしの一時です(27歳)





当社の魅力や技術力をより早く、わかりやすく伝えるために、現在、公式 web サイトの刷新作業が進行しています。企業のHPは自社をPRする上で欠かせないツールです。今回の刷新では、当社の魅力と強みをお伝えするため、「人」に焦点を当て、若手社員の紹介などを通じて、仕事のやりがいや技術力を随時発信していきます。ご期待下さい！



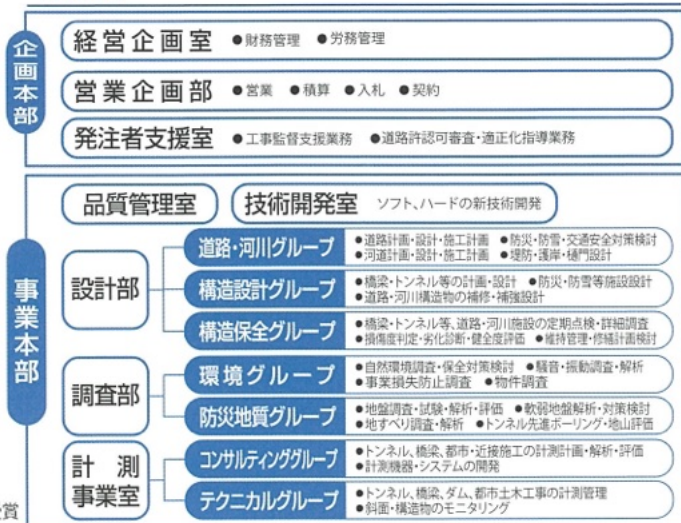
リクルート特設サイト 2021



株式会社エーティック 会社概要

- 商号 株式会社エーティック
- 代表者 代表取締役社長 舟田 幸太郎
- 所在地 (本社) 札幌市西区二十四軒1条5丁目6番1号
- 創業 昭和48年1月31日
- 資本金 48,000千円
- 従業員 96名
- 事業所 札幌本社 東京支店 函館支店 道央営業所 旭川営業所
- 表彰
 - 令和2年 北海道開発局帯広開発建設部 部長表彰 受賞
 - 令和元年 北海道開発局札幌開発建設部 優良工事等表彰 受賞
 - 北海道開発局小樽開発建設部 優良工事等表彰 受賞
 - 札幌市建設局土木部所管工事に係る設計等優秀履行業者表彰受賞
 - 平成30年 北海道開発局室蘭開発建設部 優良工事等表彰受賞
 - 平成29年 北海道開発局網走開発建設部 優良工事等表彰受賞
 - 札幌市建設局土木部所管工事に係る設計等優秀履行業者表彰受賞
 - 平成28年 北海道開発局札幌開発建設部 優良工事等表彰受賞
 - 平成25年 北海道開発局函館開発建設部 優良工事・業務表彰受賞
 - 空知総合振興局札幌建設管理部 優秀現場代理人・管理技術者表彰受賞

組織図



編集後記

新型コロナウイルス感染が拡大して一年が経とうとしています。社員同士のコミュニケーションや、行政や業界関係者の方達との親睦を図る機会も制限され、寂しく、ストレスがたま一年となりました。2021年は東京オリンピックもあるので、早く元通りの生活に戻れることを願います。

広報委員会 広報誌部会